

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. プラスチック製容器包装の収集日を月2回から週1回に増やしましょう</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>本市では、令和4年10月1日からプラスチック製容器包装の分別収集が開始となりました。</p> <p>収集については、従来の紙類・布類の月2回の収集と併せて行われています。</p> <p>県内の多くの自治体では、週1回のプラスチック製容器包装の収集が行われており、プラスチック製容器包装の収集日を増やすことは、本市が推進するごみ減量にも寄与することから、本市においても、週1回のプラスチック製容器包装の収集を実施すべきだと考え、質問していきます。</p>	<p>(1) 本市のごみ減量施策の現状について</p>	<p>① 本市では、ごみ減量のためとして、令和4年3月定例会において、第3号議案 瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正を議決し、令和4年10月1日からのプラスチック製容器包装の分別収集と、令和5年9月1日からのごみ処理費用の有料化（ごみ袋の大幅値上げ）を決定しました。これに並行して、ごみ減量アクションプランを示されましたが、そこで示された各施策の進捗状況はどのようなか伺います。</p> <p>② プラスチック製容器包装の分別収集が開始され、約2ヶ月が経過しましたが、これまでどのような課題が発生しているのか伺います。</p> <p>③ 上記で発生した課題に対して、どのように対処してきているのか伺います。</p> <p>④ 本市の令和3年度ごみ組成調査結果によると、プラスチック製容器包装の割合は12%であり、調理くずの21%に次いで2番目に多くなっています。組成調査は体積ではなく重さで計測しているため、軽くてかさばるプラスチック製容器包装は、水分を含む調理くずなどより数字が低く出る傾向があると考えます。そのため、実際のごみ袋の中に占めるプラスチック製容器包装の割合は、体積で考えると、組成調査の数字よりずいぶん多いのではと考えますが、見解を伺います。</p> <p>⑤ 本市では、令和4年度から「資源ごみ分別処理」事業を、新規で重点事業とし、ごみの資源化率と家庭系ごみ量の数値目標を掲げています。「ごみの分別収集の促進により資源化率が向上すると考えられる。」としていることから、これらに係る事業については積極的に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。</p>

(1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) プラスチック製容器包装の収集日を増やすことの効果と実現性について	<p>① 愛知県の令和2年度一般廃棄物処理事業実態調査、および各市ホームページで確認できたごみ収集状況によると、県内全38市のうち、プラスチック製容器包装の分別収集を行っているのは瀬戸市を含め36市、そのうち30市が週1回以上の収集、月2回以下は6市でした。本市ではどのような検討のうえ、月2回としているのか伺います。</p> <p>② プラスチック製容器包装の収集日を増やすことに関して、平成25年2月東京都福生市廃棄物減量等推進審議会が市に提出した答申によると、その効果として「ごみ、資源の分別促進効果→ごみ減量、資源化率の向上。」「資源ごみを長期間保管しなくてよい。」「可燃ごみ量の減量による処理費用の抑制。」が挙げられています。本市においても、プラスチック製容器包装の収集日を増やすことは、同様の効果が期待できると考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ さらに本市において、プラスチック製容器包装の収集日を増やすことは、ごみ減量アクションプランに掲げる3つの観点である、資源化、処理・排出支援、ごみ減量啓発・意識向上のすべてに通ずると考えますが、見解を伺います。</p> <p>④ 同じく排出支援の観点から、排出量の多いプラスチック製容器包装の収集場所を、現行の資源物置場ではなく、燃えるごみ置場とすることは、さらなるごみ減量に寄与すると考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑤ 具体的に、プラスチック製容器包装の分別収集の回数を、現行の月2回から週1回に増やし、収集場所を変更しようとした場合、どのような課題があるのか伺います。</p> <p>⑥ 上記の課題に対して、どのような解決策があるのか伺います。</p> <p>⑦ 本市では、令和5年9月1日からのごみ処理費用の有料化をすでに決定したなかで、「ごみ減量アクションプランを併せて実施することで、高いごみ減量効果が得られる。」としています。また、「有料化制度導入での処理手数料の用途は、ごみ減量に係る事業」としていることから、ごみ減量アクションプランの一環として、プラスチック製容器包装の週1回収を実施すべきではと考えますが、どうでしょうか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。